

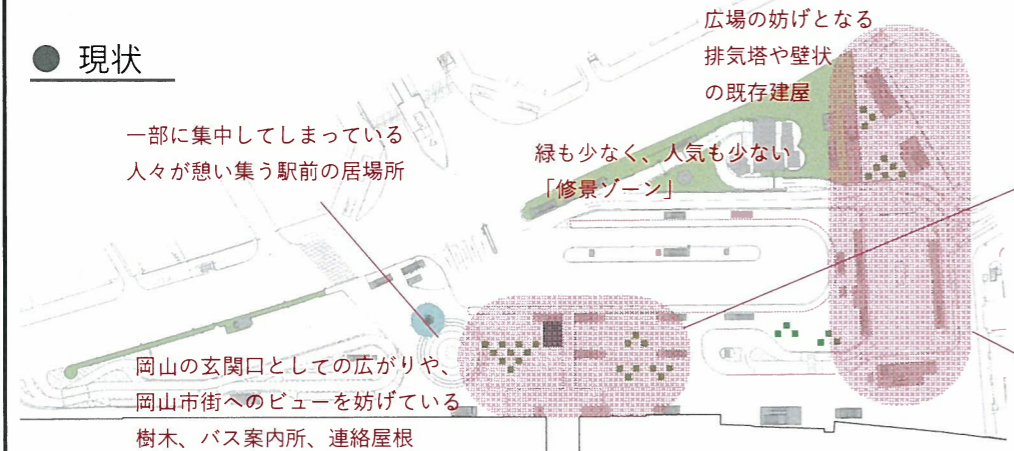
特定テーマ1に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

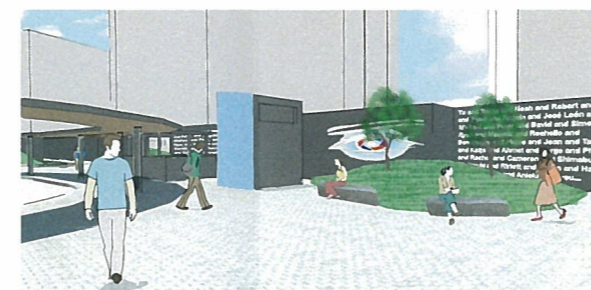
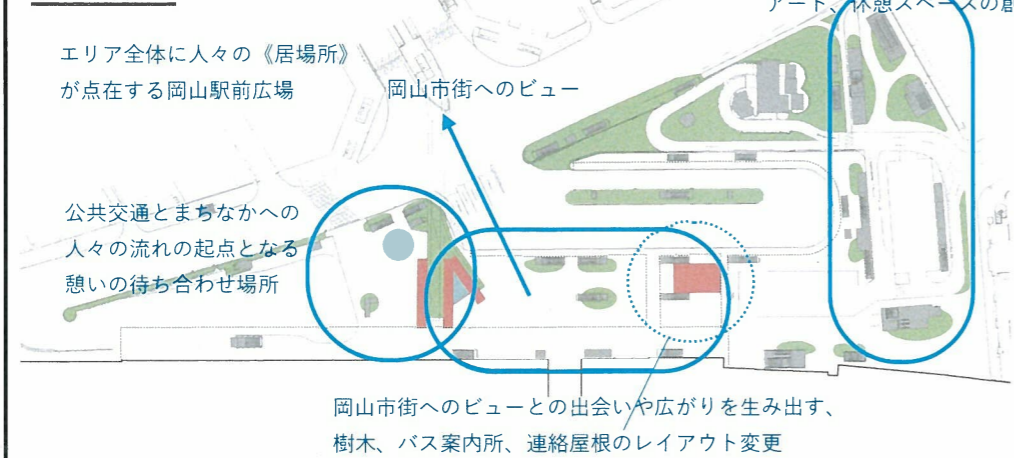
3) 岡山市街へのビューとの出会い、《にぎわい拠点》としての広がり、人々の《居場所》を創り出す、既存の制約条件を活かしながら、新しい姿へと新生するデザイン

- ・ 駅前広場にふさわしい広がりや、岡山市街へのビューの妨げとなっている現状の樹木、バス案内所、連絡屋根等をレイアウト変更し、岡山市街へのビューへと開かれた《にぎわい拠点》となる広場空間を生み出します。
- ・ 岡山駅前広場の抱える様々な既存の制約条件を考慮した上で、制約条件（マイナス）を利点（プラス）に転ずることで、駅前広場の記憶を「継承」しながら「新生」させるデザインを提案します。
- ・ 現状では、憩い集う《居場所》が噴水や「吉備沃野」など一部に集中してしまっています。連絡階段や排気塔など「障害物」的存在も上手く活用するデザインで、駅前広場全体に人々の《居場所》を点在させます。

● 現状



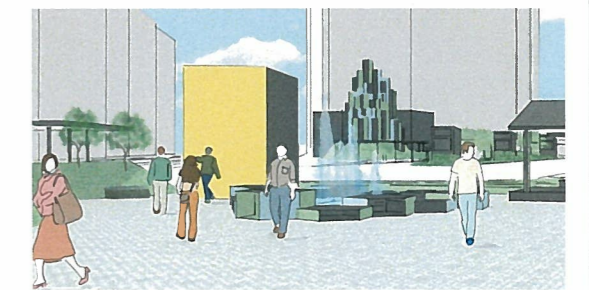
● 提案



- ・ 巨大な壁面を活かした、情報発信のサイネージやパブリックアートへの活用
- ・ 緑とストリートファニチャーによる休憩スペース創出



- ・ 例えば、給排気塔と同じ六角形をモチーフとした噴水のデザインの検討。
- ・ 憩いの待ち合わせ場所となり、まちなかへの人の流れの起点となる噴水の提案。



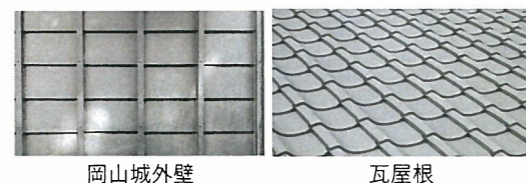
- ・ そそり立って点在する排気塔は、その高さと存在感を活かした「案内サイン」としての活用。
- ・ ダークグレー色を基調とし、サインカラーを用いた洗練されて見やすいデザインの提案。

4) 「岡山らしさ」を感じる《県産材》の自然素材や配色でまとめた統一感のあるデザイン

- ・ 駅前広場は「岡山らしさ」を感じる「色」や、《県産材》の木や石などの自然素材による仕上げとすることで、文化的に洗練された都市空間にふさわしい、利用者にわかりやすい統一感のあるデザインを提案します。

① 岡山城の外壁や、瓦屋根を思わせる、落ち着きと風格が感じられる「ダークグレー色」

- ・ 屋根材の色
- ・ 排気塔や建屋などの基調色
- ・ 岡山駅の壁面



② 「岡山らしさ」と、自然素材のあたたかみが感じられる県産材の「木質仕上げ」

- ・ 軒天上材
- ※ CLT の活用も検討



③ 後楽園や岡山城などの敷石を思わせる、都市的で落ち着いた印象の「ライトグレー色」

- ・ 舗装材



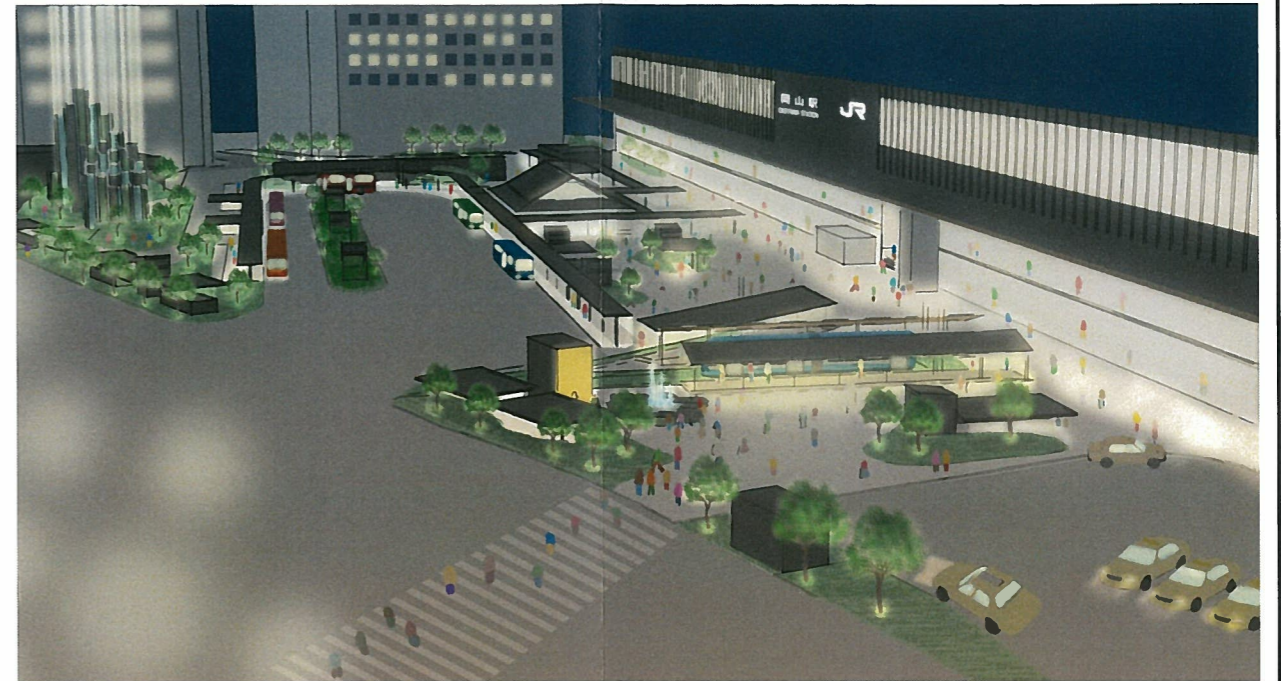
特定テーマ1に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

● 岡山駅前広場 提案イメージパース



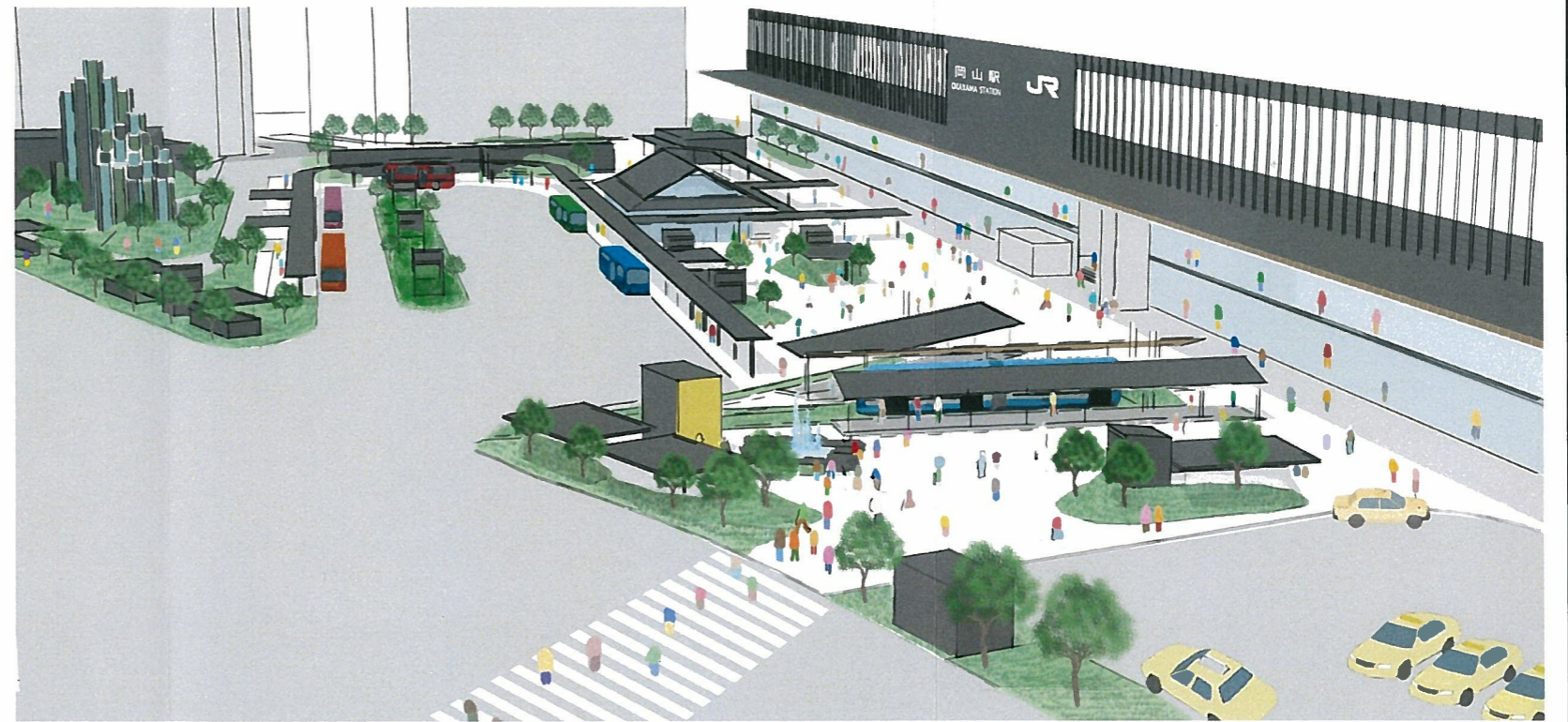
JR 岡山駅の大屋根側から見た、岡山市街へのビューへと開かれ、緑の憩いスペースが点在する、にぎわい拠点としての広がりある「シンボル広場」。
岡山駅前広場に点在する「緑と憩いの休憩スペース」は、瀬戸内海に浮かぶ「多島美」(アーキペラゴ)も想起できるようなデザイン提案です。



北側から見た、やわらかな光でライトアップされた駅前広場の夜景。
照明デザインは、市民や来訪者に安全で印象的なあたたかみのある、夜の《にぎわい拠点》に配慮した計画を提案します。



東側から見た、緑あふれる「修景ゾーン」と駅前広場の全景。
「修景ゾーン」は、岡山市街からも緑のランドマークとなり、緑あふれる岡山駅前広場というイメージを与えます。



北側から見た、「シンボル広場」や「交通拠点広場」のにぎわいに溢れる、緑豊かな駅前広場の全景。
岡山駅前広場とJR 岡山駅が統一感のあるデザインでまとめられ、一体となった都市のにぎわいを生み出します。

特定テーマ2 に対する企画提案

● 駅前広場を拠点とする周辺への歩行者優先の動線確保

▶Point

「岡山駅前広場整備の基本コンセプト (H28)」に基づいた**動線確保**の検討

- ・平成 28 年度の「路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場のあり方検討会」において、目指す広場像として、4つの広場像が提案されており、これに対応した検討項目が掲げられています。
- ・「駅前広場を拠点とする周辺への歩行者優先の動線確保」に関しては、4つの検討項目のうち、特に『交通結節点としての機能強化』『周辺のにぎわいを増すための歩行者動線の確保』に着目し、以下の観点から検討を行います。

1 着眼点・検討の目的	岡山駅前広場の基本コンセプト	
	公共交通を中心とした「人が主役」のにぎわい拠点となる広場	
	岡山駅前広場として目指す広場像	
	<ul style="list-style-type: none"> ①公共交通ネットワークの要となる乗換しやすい広場 ②人が集い、にぎわい・憩いの場となる、誰もが利用しやすい広場 ③周辺に回遊する起点、拠点にふさわしい広場 ④「県都岡山」の玄関口にふさわしい「岡山らしさ」を感じる広場 	
	検討項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ①交通結節点としての機能強化 ②周辺のにぎわいを増すための歩行者動線の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ③にぎわい・憩い空間の確保 ④景観の向上
	着眼点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車の乗り入れを契機にした乗換機能の強化 ・岡山の玄関口(拠点)に相応しい案内機能の向上と周辺施設への誘導 ・ユニバーサルデザイン(UD)への対応 ・歩行者動線と連動した滞留空間の確保 	

2 問題点と課題	動線計画	案内計画
	【問題点】 ・UD基準との乖離 【課題】 ・UD基準との整合を目的とした対応策	【問題点】 ・「見つけやすさ」「分かりやすさ」の欠如 【課題】 ・案内機能の向上(配置検討)
	路面電車乗り入れによる問題点	
	【問題点】 ・滞留空間(噴水、桃太郎像)の消失 【課題】 ・滞留空間(代替空間)の確保	【問題点】 ・案内対象の追加による複雑化 【課題】 ・案内施設の見直し

3 検討方針	動線計画	案内計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安全に安心して利用できる歩行者動線の確保(UD基準への対応) ・滞留空間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地に円滑、かつ、分かりやすく誘導するための案内施設の検討

4 具体的な 対策案の 検討	動線計画	案内計画
	<ul style="list-style-type: none"> ■歩道縦断勾配の改善 <ul style="list-style-type: none"> ①地下構造物に配慮した歩道面の掘り下げ ②マウンドアップ型⇒セミフラット型に改良 ■利用特性に着目した滞留空間の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ■動線経路に連動した配置検討 ■利用者動線、広場利用に配慮した構造検討 【具体的な提案箇所】 <ul style="list-style-type: none"> ①東西連絡通路正面 ②動線分岐点

図. 検討フロー

特定テーマ2に対する企画提案

● 駅前広場を拠点とする周辺への歩行者優先の動線確保

1 着眼点：検討の目的

≫Point

「岡山駅前広場整備の基本コンセプト」における『交通結節点としての機能強化』『周辺のにぎわいを増すための歩行者動線の確保』を目的とした検討が必要

■路面電車の乗り入れを契機にした乗換機能の強化

・駅前広場への路面電車の乗り入れを契機に、公共交通機関が岡山駅に集約され、更なる広場利用者の増加が予測されることから、広場利用者がJR、路面電車、バス、タクシー、一般車などスムーズに乗り換えができるよう、歩行者動線の確保と案内性の向上が必要です。

■岡山の玄関口（拠点）に相応しい案内性の向上と周辺施設への誘導

・岡山駅前広場は岡山の玄関口であることから、県内外の来訪者にとっての起点（拠点）であり、かつ、地域住民の待合せ空間（拠点）として位置づけられます。このため広場利用者が周辺の観光施設や行楽施設、商業施設などに迷うことなく行けるよう、周辺施設も含めた案内性の向上が必要となります。検討に当たっては、地下街と岡山駅を含めた周辺検討が必要です。

■ユニバーサルデザインへの対応

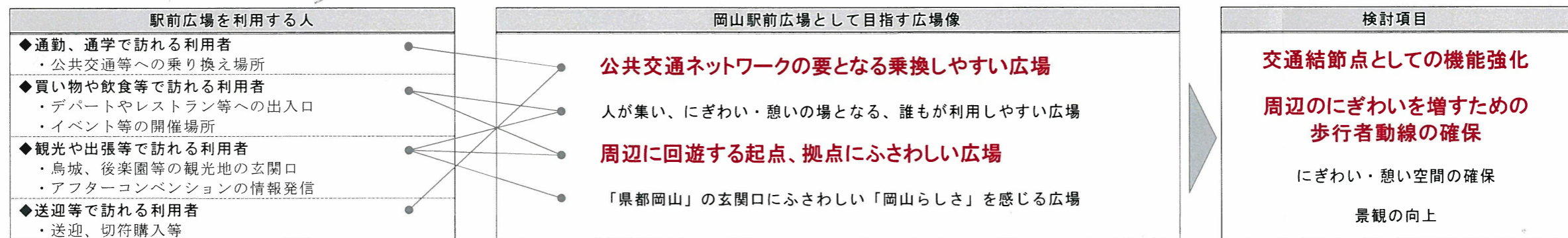
・現在の駅前広場は必ずしもバリアフリーとなっていない部分があることから、すべての利用者が安全かつ快適に移動できる動線の確保が必要です。また、近年増加傾向である外国人来訪者への対応も必須となっていることから、案内施設については外国人来訪者へのユニバーサルデザイン（多言語対応）も必要です。

■歩行者動線と連動した滞留空間の確保

・駅前広場は、周辺を回遊する起点、拠点となることから、路面電車乗り入れにより消失する「滞留空間（現在は噴水、桃太郎像）」を再び設置することが必要です。

県都岡山の玄関口にふさわしい岡山駅前広場整備の基本コンセプト

公共交通を中心とした「人が主役」のにぎわい拠点となる広場



検討項目	検討方針	駅前広場機能の改善整備計画
交通結節点としての機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆乗り換え利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、路面電車、バス、タクシーなどの交通手段相互の円滑な乗り換え利便性の向上を図る ◆案内の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通や周辺へのわかりやすい案内の再構築を図る ◆安全性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通、一般車、歩行者の動線の分離を図る 	駅前広場及び周辺への動線・案内計画
周辺のにぎわいを増すための歩行者動線の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆駅前広場を拠点として、周辺へにぎわいを増す歩行者優先の動線確保 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者優先の動線の確保を図る ・歩行者動線や広場内のバリアフリー化を図る 	
にぎわい・憩い空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆都心部として、にぎわい、活気づく空間へ <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時における広場の利用のしやすさの向上を図る ・にぎわい、憩いスペースの確保を図る ◆来訪者への「おもてなし」が感じられる広場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・初めての来訪者や訪日外国人等にとっても利用者しやすい広場を目指す ◆誰もが利用しやすい空間へ <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインに対応し、誰もが安全に安心して利用ができる広場を目指す 	駅前広場の景観整備計画
景観の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆県都岡山の玄関口にふさわしい景観形成 <ul style="list-style-type: none"> ・市民や来訪者等が「岡山らしさ」を感じられる景観形成を目指す 	

図. 基本コンセプト（出典：平成28年度 第3回路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場のあり方検討会）